

K A W A K A M I D A M 2008

# 川上ダム通信

3月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 河川清掃隊出陣！！

私たち川上ダムの職員は全国から縁あってこの阿保の地に集まって来ております。私たちの職場のある地域の川を美しく保ちたいとの思いから、3月18日（火）の17:00より木津川河川敷（大縄橋～後瀬橋間）において、水機構発注工事の請負者さんにも参加いただき、ボランティアでの河川清掃活動を行いました。職員がゴミ袋と火ばさみを持ち、河川敷に生えた草の下をさぐってみると、30分もたたないうちに、大量の空き缶・ペットボトル・雑誌・弁当の空き箱などで、ゴミ袋はすぐに一杯になりました。河川敷にはテレビや洗濯機なども投棄されており、堤防の上の道路に持ち上げるだけでも一苦労するなど、この日に集めたゴミは軽トラック3台分もの量になりました。

今後も木津川、前深瀬川など転戦しながら、活動を続けていきたいと思っております。

【第二用地課 藤好健太郎】



清掃活動の様子



集めたゴミの様子

## 水道研修を実施

川上ダム建設所に勤務する職員として、自らの事業基盤を再認識するため、伊賀市の水道事情と水道水がどのようにつくられているのかを学ぶ水道研修を、3月3日（月）に三重県伊賀水道建設事務所と伊賀市水道部にお世話いただいて実施しました。

伊賀水道用水供給事業及び伊賀市水道の現況の説明を受けた後、現在建設が進んでいる夢が丘浄水場並びに供給を行っている中勢水道高野浄水場（津市一志町）の現地見学を行うとともに職員の皆様と情報交換を行いました。

川上ダムを水源とする夢が丘浄水場の工事の進捗を目のあたりにして、川上ダム建設事業の早期完成に向け頑張りたいと思っております。

【調査設計課 黒木裕次】



中勢水道高野浄水場見学の様子

## 「第6回川上ダム自然環境保全委員会」を開催

3月17日（月）、メルパルク大阪（大阪市）で「第6回川上ダム自然環境保全委員会」を開催しました。この委員会では川上ダムの建設に伴う自然環境への影響をできる限り少なくするために、専門家の指導・助言を受けて、保全対策等について検討を行っています。

今回は、ダム建設後の水質予測による貯水池の水質保全対策の検討内容や、平成19年度に実施したオオサンショウウオ、希少猛禽類、動植物の調査結果および保全対策の検討・実施状況について報告するとともに、それらを踏まえた平成20年度の調査計画（案）について審議していただきました。委員からは、「動物の重要な種の補足調査は、優先度の高い調査が疎かにならないよう注意して対象種の選定を行うこと。」などの指導・助言をいただきました。

【環境課 古賀勝之】



委員会の状況

## ～地域融和に関する勉強会～

3月4日（火）、柳川晃中部支社審議役（前 一庫ダム管理所長）を講師に招き、『地域融和に関する勉強会』と題して、一庫ダム（兵庫県）での事例を参考に勉強会を開催しました。

一庫ダムでは、数年前から地元住民の方々と協働して様々な取り組みを行い、良好な関係を維持しながら、地域に根ざすダムを目指しています。勉強会ではこの取り組み事例が紹介され、地元とダム管理所と協働しての「ダム下流でアユが育つ川」づくりへの取り組み、共同でのシンポジウム参加事例や川の再生活動、広報活動についての講演がありました。

講演を拝聴し、地域の方々と常にコミュニケーションをとることの大切さと、業務を遂行するにあたり地域の方々と顧客となぞらえて「顧客満足度の向上」を図ることの必要性を痛感しました。

【工務課 別府博幸】



勉強会の様子

## 地元の方々に工事の進捗状況を説明

3月10日（月）、川上区及び関係する上下流地区の区長さん、ダム対策委員長さんのうちから約20名の方に、また、3月20日（木）には、種生区山立地区の住民の方々約20名に、付替県道松阪青山線の工事状況を見学して頂きました。



工事現場見学の様子

付替県道松阪青山線全区間の見学コースの内、長さ107mの<sup>たまだにおおはし</sup>滝谷大橋から長さ27mのかえる<sup>いわはし</sup>岩橋まで約650mを徒歩で移動するなど、現地で急ピッチで進む道路工事、今後、落石対策が必要な箇所をつぶさに見学して頂きました。地元の皆様には、早期開通を心待ちにしているところですが、道路として安全に通行できるよう、必要な工事を鋭意進め、道路管理者である三重県と調整のうえ、市道阿保老川線交差点までの区間については、今年7月（市道阿保老川線供用開始とあわせた時期）に、全線については、遅くとも今年10月1日までに供用する予定であることをご説明致しました。また、今後行う落石対策の工事中には皆様にご迷惑をおかけいたしますが、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。【第二用地課長 芦田哲郎】

# 川上ダムを支える皆様への事業説明会を実施

3月6日（木）、川上ダム建設事業を進める上で事務所や宿舎の借地をお願いしている地権者の皆様に川上ダム建設事業の現況についての説明と、現場見学会を行いました。年度末にもかかわらず、多数の方々がご参加下さり、川上ダムについての様々な意見をいただくとともに、道路工事現場の見学では、「この辺りは昔遠足で来たことがありますよ。」等々、昔話にも花が咲いた様子でした。最後には「是非、また現場を見せて下さい。」と要望いただくなど、良い機会を設けることが出来たと感じる一方で、改めて、関係者の皆様の川上ダムへの関心の高さを痛感いたしました。

皆様のご期待に沿えるよう、職員一同、1日も早い川上ダムの完成に向け邁進して参ります。



事業説明会の様子

【総務課 河合佳之】

## 第1回

## 植物図鑑シリーズ 地元で見られる植物

一見何気ない田んぼや森林でもあらゆる環境にうまく適応する数多くの植物が見られます。そこで今月から連載で地元で見られる植物を紹介します。

今月は林内でこの時期開花する草花を紹介します。最初にシュンランですが、アカマツ林や落葉広葉樹林など乾いた林下に生育する常緑の多年草です。淡い黄緑色の花が開き、新しい花は塩漬けで食用にもなります。次に紹介するシロバナショウジョウバカマですが、湿り気が多い林縁に生育する多年草で、花の形がショウジョウという中国の伝説の動物に、葉の重なりを袴に喩えられたのが名前の由来と言われています。これらの植物は雑木林の減少やスギ・ヒノキ林の手入れの不足により生育環境が悪化し、伊賀市のレッドデータブックに指定されています。

【環境課 水野正明】

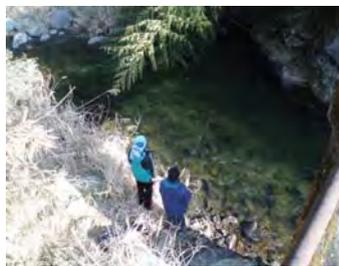


シュンラン  
開花時期：3～4月  
花の直径3～5cm



シロバナショウジョウバカマ  
開花時期：3～4月  
長さ10～30cmの花茎に3～15個の花をつける

## 川の恵みに感謝 ～はじめてのアマゴ釣り～



釣り場の様子と釣ったアマゴ

3月2日（日）にアマゴ釣りに出かけました。

海釣りとは異なり、川釣りは釣堀以外全くしたことがなかったので期待と不安の中釣りを始めました。

場所は前深瀬川の中流域でしたが、そこにはアマゴがたくさん泳いでいたので釣堀のごとくたくさん釣れると思いきや、初心者にはそう簡単にはいかず、なかなか釣れない状況が続きました。せっかく来たのだから釣果0で帰るのは悔しいので意地になって釣っていたら午後からパタパタ釣れ、結果2人で7匹釣ることができました。

釣り方が分からなくて糸を絡ませたり木の枝に引っかけたりしドタバタの釣りでしたが、海釣りとは違った雰囲気を楽しみ有意義な1日でした。

【環境課 水野正明】

2月24日（日）、ボーイスカウト青山第一団改め伊賀第一団となって初めてのBP祭が行われました。

この行事はボーイスカウトの創始者であるイギリスのベーデン＝パウエルという人の誕生日（2月22日）をお祝いするもので、全国のスカウト達がゲーム等を楽しみ、BPの存在を再認識する行事です。また、ボーイスカウトに興味のある子供達と一緒に楽しんでもらえる様、毎年参加者を募集しています。

特に今年はボーイスカウトが始まって百周年という記念すべきBP祭となり、青山かるたをお借りしてのかるた大会も、思い出深いものになった事と思います。

難しい文字や言葉がたくさん出てくるかるたですが、大きいスカウトに教えてもらいながら小さいスカウト達が一生けん命に興じる姿はとても微笑ましいものでした。

ひとつ大きな行事を終え、スカウト達はまた、通常の活動に励んでいます。

【ボーイスカウト伊賀第一団 矢田恵様】

※川上ダム通信では皆様からの投稿をお待ちしております！

## 第9回

### ちかた 藤原千方伝説地探訪

かえるいわ  
〈蛙岩〉

千方將軍達が朝廷軍と戦った時に、おんぎょうき隠形鬼が大蛙に化けた名残として残っているといわれています。

※蛙岩への行き方

近鉄青山町駅から高尾行きバス15分山立橋下車徒歩10分



蛙岩

## EVENT

### 桜山公園の桜

大村神社に近い桜山公園にはソメイヨシノ約200本が植えられています。大村神社は「地震の神様」として全国から多くの参拝者があります。

○場所／桜山公園（伊賀市阿保）

### 名張中央公園の桜

公園内の桜並木が美しく、花見の名所となります。ソメイヨシノ約760本。道路沿いの桜並木（約600m）には提灯が点灯され、歩行者天国として開放されます。

○場所／名張中央公園（名張市夏見）

### 青蓮寺湖畔の桜

約600本もの桜が湖周辺を鮮やかに彩る青蓮寺湖の桜。ここから少し足を伸ばせば春の味覚・いちご狩りも可能、桜見物の後にぜひどうぞ。

○場所／青蓮寺湖畔（名張市青蓮寺）

## 編集後記

4月に近づき、ようやく温かくなってきました。伊賀や名張にはたくさんの桜の名所があります。もうすぐお花見の時期です。地元の桜で春を満喫しましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 上村 信幸（総務課長）

〃 北牧 正之（工務課長）

通信記者 立石 浩行（調査設計課）

〃 磯野 正典（環境課）



ISO14001 : 2004  
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆  
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇